

# 2011年度 チャリティーミュージカル公演終了



このチャリティーミュージカルはアイバンク啓発を目的とし、アイバンクの大切さをもっと多くの方に知っていただきたいという思いから、わかさ生活は、4年前よりチャリティーミュージカル「パパからもらった宝もの」に特別協賛しています。



2011年度は9月17日(土)に大阪、9月24日(土)に東京にて開催されました！  
大阪会場の高槻現代劇場では、当日は雨で足元の悪い中、1,085名もの方がご来場。  
晴天に恵まれた東京会場の一ツ橋ホールでは満員となる775名もの方にご来場いただきました！



会場のロビーではわかさ生活のブースも大人気！  
会場前や休憩中にはビジョントレーニングや、ビルベリージュースの試飲を行いました。



献眼を告げるシーンです。  
当日はアイバンクのために  
献眼登録をしていただいた方や、  
募金をしていただいた方がいらっしゃいました。



最後は出演者によるお見送りです。  
出演者にプレゼントを渡される方もいて  
ロビーは賑やかな雰囲気には。



ご来場いただいた皆様ありがとうございました

観覧感想はこちら！

※このミュージカルの収益金は、全額アイバンク施設や被災地への支援に寄付されます。

## 観覧感想 <2011年度開催のお声です>

REVIEW

### ● 61歳女性の方

私自身平成17年10月に左目の角膜移植をうけました。大勢の方のお心と、お力を頂き、とても感謝しております。毎朝鏡に向かって「優しい方の角膜をいただいたのだから、私も心優しい人でありたい」と語りかけております。

### ● 54歳女性の方

生命の大切さ、人と人との繋がり、苦しみ、悲しみ、楽しみ、喜び、運命、生きていくことの重みを感じました。人は多くの人と関わり、支え合って生きていくということですね。私も日々の生活をする中で使命感を持ってまいります。

### ● 16歳女性の方

ミュージカルを観るのもアイバンクを知るのも初めてでした。この年齢になり健康には気を付けていますが、目のことはあまり考えていなかったし、角膜移植のドナーは今のうちからでも登録できるということも分かり、色々なことを知る良い機会になりました。

### ● 51歳女性の方

配られた冊子を読んではっとしました。角膜を提供する立場からは「いくら死んでいてもなんだかイヤだな」と思っていました。が、「息子の目を使ってくださる方がいらしたから生きていく。灰になることなく生き続けていられるのです」に感動しました。社長のお話でもありましたが、視点・考え方を変えれば、人生観も変わってきますね。わかさ生活さんの催し物はは何回も参加させていただいていますが、いつも素晴らしい内容で感謝しています。連れてきた小学6年生の娘も「子どもにも分かりやすいね」と言っていました。目の見えるありがたさを再認識した素晴らしい一日でした。角谷社長、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

### ● 21歳女性の方

今まで免許証の臓器提供意志でなんとなく眼球のところには丸をつけていなかったけれど、アイバンクに登録することで2人の視覚障害者の目になれると思うと、アイバンクに登録してみようというきっかけになりました。

### ● 62歳女性の方

非常に深く重い「アイバンク」に関して今このミュージカルをきっかけに自分なりに考える時なのかと気づかされ自分が死んでしまったとき家族はどうするだろうか、家族がもし亡くなったとき、私ならどうするだろうか？ 答えはすぐにでないが家族の間で今話しておく事ではないかと強く感じた。重要なことだと思う。

### ● 59歳女性の方

自分も目に病気があって失明するかもと思った絶望感は重いものでした。何か自分にできることはなにかと思っていましたが、アイバンクに登録しようと思いました。1ヶ月半前に母をなくしたばかりですが、母にもなくなったときに角膜提供の話があれば考えたと思いました。今日は来て良かったです。感激しました。

## ▼大阪

## ● 60歳女性の方

本日、あらためて眼の大切さを再確認しました。見えるのが当たり前と思っていたのを見るのが「**ありがたい**」と思いました。自分自身の身体を大切にしていきます。

## ● 66歳女性の方

とても感動しました。去年より一層良かったです。アイバンクに関心が深くなり目を大切にしたいと思えます。また、**来年も見たい**と思っています。

## ● 59歳男性の方

初めてのわかさ生活のチャリティーミュージカルに感動しました。目の見える喜びと人と人との愛のつながりを見せていただき、**何か忘れていたものを思い出させてもらいました**。ありがとうございます。

## ▼東京

## ● 57歳女性の方

とてもよいミュージカルでした。家族や友人とも見たいです。**目の大切さ、心のもろさ、人への優しさ、家族のありがたみ、心温まるミュージカル**でした。泣いてしまって、グスン。生きている自分、目が見える自分がどれだけ幸せなのかを改めて知らされた想いです。優しい思いやりのある自分になりたいです。今日はありがとうございます。社長さんのお話も共感しました。私も人の役に立ちたいです。

## ● 50歳女性の方

目の大切さは常に思っています。今回ミュージカルを観る機会に恵まれ、あらずじで内容を確認していたので、泣かないと思っていましたが、**最初から自然に泣けてきたのに自分ながら驚きました**。ミュージカルやコンサートはよく行きますが、久しぶりに心から感激しました。わかさ生活とめぐり合えて幸せです。これからも宜しくお願いします。

## ● 12歳女性の方

とても感動しよかったです。また観たくなりました。今まで見たミュージカルの中で**一番好き**なミュージカルになりました。

## ● 27歳女性の方

アイバンクのことは知らなかったのですが**とても勉強になりました**。ミュージカルだと小さい子にもわかり易くよいと思います。これからもいろいろな所で広めていっていただきたいです。

## ● 35歳男性の方

良い機会となりました。周りにもアイバンクについて紹介していこうと思います。また、**ぜひ一人でも多くの方にこのミュージカルを観ていただきたい**と思います。

## ● 39歳男性の方

前々回に見せていただきました。あの時思った事を思い出しながら、今回もう一度見たいと思い実現しました。**ぐっとくる時が何度かありました**。アイバンクを知るといふ事がこれで再認識できた。

## ● 72歳女性の方

本当の世のため人のためになる事の大切さがよくわかりました。**アイバンク本当に大切ですね。自分が死んだ後に誰かの体の一部になってその人、その家族が幸せになる…素晴らしいと思います**。ただ…「自分が？」となると、私一人で決める勇気はありません…。家族はどう思うのか？喜んでくれるのか？深いです…。

## ● 39歳女性の方

目の見えることの素晴らしさを実感した。角膜が人の役に立つことをしっかり教えてくださり、ありがとうございました。娘にもそして私にも生きていることがどんなに幸せかをミュージカルを通して改めて教えてくださり、人生の中で素晴らしい一日でした。「生きてさえいれば明日がある」という言葉、ありがとうございます。**この作品に出会えただけでも劇団に入ってよかった**と思いました。アイバンクに登録して光のリレーのお手伝いをしようと思います。

## ● 42歳女性の方

アイバンクや角膜移植の存在については知っていたが講演やミュージカルを通じて身近な事、考えるきっかけとなりました。演技や歌もすばらしく、何度も泣けてしまいました。ありがとうございます。

## ● 12歳女性の方

ミュージカルはとても面白く、内容も目の大切さがよく分かる内容でした。ミュージカルを見るために来たけれど、**いろいろなブースがあり、目のことがよくわかって一石二鳥**でした。ありがとうございます。